

公益財団法人 日本中毒情報センター 保健師・薬剤師・看護師向け中毒情報

鉛筆、色鉛筆

1. 概要

鉛筆も色鉛筆も、形体上、大量に食べることはほとんどない。

鉛筆の成分：黒鉛 65%、粘土 35%、これらに水を加え、油をしみ込ませている。

鉛は入っていない。鉛筆の軸に塗られているニスに含まれる鉛の量は、JIS規格で 200ppm 以下に規制されている。

色鉛筆の成分：タルク約 50%、顔料、ロウ、糊剤（カルボキシメチルセルロースなど）

2. 毒性

鉛筆は無毒、色鉛筆もほとんど無毒

黒鉛：ヒト経口推定致死量 15g/kg 以上 不活性物質(1)(2)

タルク：ヒト経口推定致死量 15g/kg 以上(2)

カルボキシメチルセルロース：ヒト経口推定致死量 15g/kg 以上(2)

顔料：ヒト経口推定致死量 10g/kg 以上

ロウ：ヒト経口推定致死量 15g/kg 以上(2)

3. 症状

ほとんど症状は発現しない

4. 処置

家庭で可能な処置

通常、処置不要

医療機関での処置

通常、処置不要。症状があれば対症療法

5. 確認事項

1) 摂取量：なめたか、かじって飲み込んだのか

2) 患者の状態：変化の有無

6. 情報提供時の要点

通常は家庭で経過観察し、症状があるときに受診を指示

7. 参考文献

(1)Poisindex(1988)

(2)Clinical Toxicology of Commercial Products(1984)

8. 作成日

19900215 Ver. 1.00

ID M70035_0100_2